

農業委員会委員36人が決まりました

会長に山本康樹委員、会長職務代理者に藤本正彦委員が就任

つがる市農業委員会委員の辞令交付式が2月12日、市役所で行われ、36人が委員に任命されました。農地に対する許認可、耕作放棄地の発生防止と解消、新規就農の促進など、農業に関する幅広い役割を担います。任期は令和6年2月10日まで。

辞令交付式に続き、委員任命後はじめての総会が行われ、会長に山本康樹委員、会長職務代理者に藤本正彦委員が就任しました。

36人の委員は以下の方々です。(左上から議席番号順に掲載)



山本 康樹 会長

氏名	地区
1 田戸岡 誠	木造下遠山里
2 古坂 勇樹	柏上古川
3 太田 善造	木造土滝
4 三橋 衛	木造菊川
5 工藤 育江	柏広須
6 野宮富喜子	豊富町
7 笠井 正己	稲垣町千年
8 新岡 亮	木造吹原
9 吉田 秀美	木造越水
10 菊池 昭二	柏下古川
11 葛西 勝久	木造豊田
12 秋田谷廣次	木造千代田

氏名	地区
13 工藤しのぶ	稲垣町福富
14 成田 金春	木造出来島
15 杉森 広宣	木造桜川
16 今 輝義	森田町上相野
17 鎌田 誠	森田町大館
18 福井 清光	稲垣町穂積
19 盛 行春	森田町下相野
20 三橋 弘	木造菊川
21 斉藤 鉄男	稲垣町穂積
22 成田 清繁	稲垣町沼崎
23 長谷川一幸	木造越水
24 工藤 恒寛	牛瀨町

氏名	地区
25 長谷川秀樹	木造越水
26 小山内 壽	富蒔町
27 藤本 正彦	木造善積
28 工藤 正樹	牛瀨町
29 稲葉 武彦	木造鶴泊
30 福井二三夫	稲垣町穂積
31 工藤 宰	車力町
32 横山 治彦	木造館岡
33 山本 康樹	木造芦沼
34 神 文敏	柏桑野木田
35 羽場 晃	豊富町
36 浅見 春樹	森田町床舞

つがる市消防団長に大淵則昭氏が就任

2月11日、大淵則昭さんが市消防団長に就任しました。

任期は、令和7年2月10日までの4年間です。

大淵さんは、昭和52年に木造福原の分団に入団以来、地域の消防団活動に精励。つがる市合併以降は、16年間にわたって木造地区団長を務めてきました。今後は、市の消防団長として、約1,100人の消防団員を指揮します。

福島市長から辞令を受け取った大淵消防団長は「揺るぎない地元愛と義勇奉仕の精神で、市民の皆さまに信頼される消防団として防災・減災に取り組んでいきます」と誓いを述べました。また、新たな地区団長の5人は次の方々です（敬称略）。



大淵 則昭 消防団長

【地区団長】木造：傳法谷林造 森田：福土精一 柏：神文敏 稲垣：大高聖功 車力：工藤順一

春の火災予防運動 実施期間 4月12日(月)～4月18日(日)

全国统一標語「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

これからの季節、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。昨年は建物火災が9件発生し、その火災により4人の方が怪我など負傷しています。今年に入り、市内では3件の建物火災が発生し（2月9日現在）、県内全域でも火災が多くなっています。火災の危険は、想像以上に身近なところにあるのです。ちょっとした油断から火災が発生し、命や財産を奪ってしまいます。住宅火災から大切な家族を守るために一番大切なのは、まずは火災を発生させないことです。寝たばこは絶対にしないこと、ストーブなど灯油やガソリンの取扱いには十分気を付けること、調理中はその場を離れないことなど、自分で防げることがたくさんあります。

次に大切なのは、起こってしまった火災を早く見つけること。そのために「住宅用火災警報器」の一日も早い設置をお願いします。

【問い合わせ先】消防本部予防課 電話42-7744

冬のメロン、ゆっくり大きくなっています

2作目
栽培 85日目
2月17日現在

昨年11月25日に種をまいた2作目の水耕栽培メロン。冬場最大の課題「日照不足」を補う有効な照明器具を検証するため、4つの栽培槽のうち1台を無灯、3台にそれぞれメタルハライドランプ、LED、蛍光灯と異なる照明を当てて経過を観察中です。

2月17日現在、交配した数で生長ぶりを比較すると、無灯の株が27個、LEDで照らした株が98個と最大で71個の差が開き、照明器具による補光効果が実証されました。一方で、1作目（夏の栽培）と比較すると、現段階で生育が約1カ月遅い結果となっています。とは言え、日照不足による遅れは想定範囲内。このまま進めば、3月下旬に収穫を迎えられそうです。

メロン水耕栽培技術研究会委員の阿部眞也副委員長は「順調に育っている。状況を見守りながら収穫を迎えたい。また、来年に向けて照明器具の増台なども検討していきます」と話していました。



(写真上)
順調に伸びている
冬場の水耕栽培
メロン

(写真左)
一番大きい玉は
直径約12cm



市に寄せられた善意をご紹介します

児童の安心・安全に役立てて



福島市長に目録を手渡す神専務。右は同社の神栄営業部長

株式会社伊藤鋳業（増田教正代表取締役社長）が2月1日、新入学児童の安全に役立ててもらおうと、市に防犯ブザー210個を寄贈しました。

同社は、地域貢献活動の一環として平成28年から市にブザーを寄贈しており、今年で6回目。ブザーは市内の新1年生全員に配布され、登下校時の防犯のために使われます。

市役所で行われた贈呈式では、同社の神義三専務取締役が福島市長に目録を贈呈。福島市長は「子どもたちの安心につながる。毎年ありがとうございます」とお礼を述べました。葛西教育長は「いざという時に児童が正しく使えるように教えていきたい」と話していました。

令和3年度の移動年金相談について

移動年金相談は、弘前年金事務所が市役所内に設置する月1回の相談窓口です。厚生年金の請求など、年金事務所でいう手続きが市役所で行えます。令和3年度は、下記のとおり実施します。

実施場所 つがる市役所 2階相談室

直近の予定日 4月27日（火）、5月26日（水）、6月23日（水）

受付時間 10時～16時

注意事項

- 完全予約制です。事前に弘前年金事務所お客様相談室（0172-27-1339）に予約を入れてください。また、予約時には基礎年金番号が必要です（配偶者の基礎年金番号も必要になる場合があります）。
- 相談当日は、本人確認ができるもの（マイナンバーカード、運転免許証など）を持参してください。
- 代理の方が相談する場合は、委任状が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止になる場合があります。

【問い合わせ先】弘前年金事務所 電話0172-27-1339 市役所市民課 電話42-2111（内線261・267）